
雪に願う

蒼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
雪に願う

【コード】
N0839D

【作者名】
蒼

【あらすじ】
友達という関係から抜け出せずそれにより自分自身を苦しめている女の子。片想いのお話だけどストーリー性はあんまりないです。

いつだって、本当に欲しいものには手が届かなくて、いつだって、軽く笑ってはぐらかす。

手に入れたら、もう手放せないと思ってるから。

ひとりでは居られないと考えてるから。『誰か』をきっと欲しくなる。そう確信できる。

私はどんどん弱くなる。弱くなってしまう。

* * *

いつだってそうだ、貴方とふたり話してる時

「好きなひととか居ないの？」

こんなはなしをいつもして、いつもいつも

「居ないよ。ってか居たことすらない」

顔に笑みを張り付けて、嘘を平気で口にする。

君とおどけたりして、彼女の話や好きなひとの話を嫌って言うほど聞かされる。耳を塞ぎたいのにそれさえ許されなくてできなくて目を反らしたいのに

叶わない。それは吐き気がする程甘くて、私を少しずつ蝕んでいく。

本当は言いたいの

叫びたいのに貴方だって、私がいつも想っているのは貴方だって、

伝えたいのに好きなんだって、届かない想いだけがぐるぐる回る。何度も何度も同じところをから回る。出口なんて見えやしない。

一年経つても、二年経つたとしても、多分私があなたに抱いてる想いは変わらない。これは一生ものだって言える。言い切れる。

けど、臆病な私は、

「また彼女、出来たんだって？」

私達の関係も止まらせる。どんなに叫んだって、どんなに伝えようとしたって、あなたには届かないし伝わらない。私が伝える前に落ちてしまう。

最初から諦めてちゃ駄目って思ってもあなたの中にはちゃんと決まった人がいるって知ってるから。

だから、臆病な私にどうか勇気をください。想いを殺して、ずっとあなたの前で何でもないように笑ってられる勇気を。

そして今日もまた私はひとり叶わぬ想いに枕を濡らす。どうか、私の想いが真っ白で儂い雪のように早く溶けてしまふことを願って。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0839d/>

雪に願う

2010年12月27日08時05分発行